

教科(科目)	技術	総時数	35 時間	学年(コース)	1 学年
使用教科書	東京書籍『新編 新しい技術・家庭 技術分野』				
副教材等	明治図書『技術・家庭総合ノート 技術分野』				

1 学習目標

- ・「材料と加工の技術」によって、身の周りを整理するものを作ろう。
- ・「生物育成の技術」の基礎的な仕組みを知ろう。

2 指導の重点

- ・生活や社会を支える「材料と加工の技術」と「生物育成の技術」について調べます。
- ・生活や社会における問題を「材料と加工の技術」によって解決します。
- ・これからの社会の発展と「材料と加工の技術」の在り方を考えます。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・生活や社会で利用されている材料と加工の技術について科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み及び、材料と加工の技術と安全な生活や社会との関わりについて理解している。 ・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。	・生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。 ・安全な生活や社会の実現を目指して材料と加工の技術を評価し、適切に選択、管理・運用する力を身に付けている。	・安全な生活や社会の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組 ・作品、ワーク、ファイル（ワークシート）などの提出物 ・定期テスト などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組 ・作品、ワーク、ファイル（ワークシート）などの提出物 ・定期テスト などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組 ・作品、ワーク、ファイル（ワークシート）などの提出物 ・定期テスト などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数	教材	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4	ガイダンス	2	オリエンテーション	・3年間の見通し、授業の受け方やルール	c	授業の取組

5 6	身の周りを整理するものを製作する	7	生活や社会を支える材料と加工の技術	・材料と加工の特性、基礎的な技術の仕組み ・技術に込められた問題解決の工夫	c	授業の取組
7 8		7	構想の表示方法	・第三角法、等角図	a a, b	構想図 定期テスト
9 10		12	材料と加工の技術による問題の解決	・問題の発見、課題の設定 ・設計・計画の立案、製作図 ・製作品の製作による問題解決 ・製作の振り返りとまとめ	c	授業の取組
11 12		2	社会の発展と材料の加工の技術	・新しい技術活用や技術開発、将来展望	c a, b	授業の取組 作品
1	生物育成の技術について調べる	3	生活や社会を支える生物育成の技術	・生物の成長などの特性、基礎的な技術の仕組み	c a, b	授業の取組 定期テスト
2 3		2		・技術に込められた問題解決の工夫	b	ワークシート

計 35 時間 (50 分授業)

6 課題・提出物等

・作品 ・ワーク ・ファイル (ワークシート)

7 担当者からの一言

小学校で学んだことを踏まえ、1年生では「材料と加工の技術」と「生物育成の技術」について学びます。主に木材を使って、身の周りを整理する物を製作します。製作した作品は2年時の秋燕祭へ出品します。

(担当：金子)